

# 震災がれき受け入れは

大久保 孝栄議員（鷹山）

大久保議員は、震災がれきの受け入れに向けた状況を質問し、鈴木知事は「体制が整った市町村から、順次被災県との具体的な協議を進めていく」と答えた。

【震災がれき】

大久保議員 震災がれきの受け入れと、被災地を視察した知事の思いは。知事 焼却施設がある市町と協議するとともに、焼却灰の処分先の確保を積極



大久保 孝栄議員

的に進めている。受け入れに向けて体制が整った市町村から、順次被災県との具体的な協議を進めていく。被災地では一年たっても、がれきがうず高く積まれ、心が痛む。岩手、宮城の両県知事は万策尽くして、押し付けようという気持ちはこれっぽちもない。県民の安全、安心を最優先に、やるべきことをやるべき。